

とまちゃん通信

角ともこ県議会レポート

2013.6 June vol.25 -1

六月定例議会報告

6月5日から26日まで開かれた定例議会では、海岸漂着ごみ対策に関する経費を基金として5億円積み増すなどの補正予算案1件、国からの要請による県職員の給与を一時期減額する「職員の給与の臨時特例に関する条例」案など条例案12件、24年度の補正に関する承認など事件案5件、報告9件が

「職員の給与の臨時特例に関する条例」案には反対

が提案され、すべて可決されました。
これは、国が公共事業等の補助金に予算を振り替えたため、地方に渡されるお金が減り、それを補うため、国の指示により、県職員の給与を今年度7月から3月まで3〜10%減額するものです。

また、今回も一般質問に立ち、次の6つの項目について質問しました。なお、詳しい内容については、この後の県議会レポートで報告します。

1. HPVワクチンによる副反応問題について

今年4月から法定接種になった子宮頸がん予防ワクチンによる副作用が問題となっており、そのことに関して県の認識と対応について質問しました。

2. 子宮頸がん検診について

HPVワクチンの接種をしながらも、子宮頸がんは細胞診とHPV検診の併用検診で、ほぼ100%がんと防くとされています。検診の受診率を高めるための取り組みについて質問しました。

3. 少人数学級について

35人以下の少人数学級の小中学校全学年での実施が全国で進んでいて、中国地方でも山口

県と鳥取県が全学年で実施しています。それについて今後の県の取り組みの考えについて質問しました。

4. 市民性教育（シティズンシップ教育）について

地域や社会をよくしていくと主体的に行動する資質や能力、行動力を育む教育を市民性教育といいます。こうした市民性を育む教育について、県の取り組みを質問しました。

5. 子ども子育て会議について

就学前の児童の教育・保育、子育て支援の今後の取り組みについて地域の実情に合わせて計画するための会議が条例で設置されます。どのような形で会議が進められるのか質問しました。

6. 女性の管理職登用について

世界からみても日本は女性の社会参画は遅れています。県の職員管理職登用も5%余りです。国の目標値30%に比べても低い数値です。この状況について知事の考えを質問しました。



私は、防災減災に関する公共事業だということも、財源を地方分かつとらず、必要なら国の事業の見直しによって財源の確保をすべきであること、地方の賃金の水準となる公務員の給与を減額することは、一般の給与にも影響し、消費を冷え込ませることもつながるという立場で反対しました。

女性の視点を生かして

5月の臨時議会で、各常任委員会、特別委員会など委員選出及び委員長等の選挙がありました。私は引き続き建設環境委員会に所属し、今回副委員長に就任することになりました。この2年間、建設環境委員会において、これまで男性議員ばかりだったところですので、女性の視

点から発言することで、今までとは違った指摘ができたのではないかと感じています。引き続き同じ委員会ですので、これまでの議論を生かし、実のある議論になるよう委員長を補佐してがんばります。

特別委員会のほうは交通網整備促進特別委員会になりました。初めての委員会ですが、社会生活基盤となる交通網の整備に道路建設優先だけに限

議会によっては会派に関係なく期数でポストに就いていくところもあるようですが、島根県議会はまだまだ改革していかなくてはいけないことが多々あります。

また、6月定例議会では、原議長、糸原副議長の辞任により選挙が行われ、議長には、五百川純寿議員、副議長には福岡賢造議員が選出されました。

この議長選挙では、民主県民クラブは、議会改革に前向きな五百川純寿議員に投票することを決め選挙に臨みました。

国の姿勢は地方に十分目を向けていず、地方は疲弊するばかりです。議会は会派を超えて地域の活性化に取り組まなければならぬ課題もあり、活発に議論を進めていく議会にしていくため、私たちは、今後も議会改革を進めていきます。



建設環境委員会での議案審議

今回、副委員長ポストを民主県民クラブの会派で常任委員会2つ、特別委員会3つを得ることができました。会派構成員数からいえば委員長ポストをとることができませんが、残念ながら会派の力及ばず確保することができませんでした。



最近の話題から

◇FM研修会◇

FM(ファシリティマネジメント)とは、効率的な施設の管理運営手法のことです。山陰両県の超党派の自治体議員でつくる山陰政策研究会では、今年度のフォーラムを松江市で「自治体におけるファシリティマネジメント」と題して行いました。

老朽化する公共施設の維持管理費は、財政が厳しい中、新たな建設費を上回る勢いで必要となってきました。待ったなしの問題への対応について研修しました。



◇参議院選挙に向かう◇

7月21日には、参議院議員選挙があります。民主党島根県連では、島根選挙区では亀井亜紀子参議院議員を支持することを決定しました。



安倍政権の政策は国民の所得を上げると言いながら、大企業の方を向いた経済政策であり、はたして地方の個人所得が上がるのか、大いに疑問です。ましてや、物価が上昇している中では、私たちの生活は苦しくなるばかりです。地方の声をしっかりと届け、生活者、働く人、弱い立場にある人の側に立つ政治の実現に向け、私も活動を続けます。